

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和2年3月3日
作成担当部署 長島町農林課

2 第三セクター等の概要

法人名 東町産業開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 長野 哲郎
所在地 鹿児島県出水郡長島町川床4447番地
設立案月日 昭和63年10月
資本金 23,000 千円 【 当該地方公共団体の出資額(出資割合) 10,000 千円 (43 %) 】
業務内容 サツマイモを原料とする製菓の餡子となる原料の一次加工品製造

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

同社は、発足当初、サツマイモからシロップを製造・販売していたが事業が安定せず、利益を生み出すためサツマイモを原料とする製菓の餡子となる原料の一次加工品等の製造に方針転換した。
発足当初から大きな損失を出したことに加え、同社自体の資産がなく、債務超過は利益が出ない中、買掛金が膨らみ借入金への返済ができず累積赤字は増大した。
平成21年から7年間は黒字に回復してくるが、27年度に操業した焼酎原料の冷凍芋が不良品となり、28年度に大きな特別損失を生み出した。
町は、原料となるサツマイモ確保のため、生産農家に対しその苗代を一部補助するなどして間接的に支援したほか、町営で実施していたドクダミ事業を引き継ぎ、事業と併せて雇用体制の整備を行った。近年では、工場内設備や施設の改修支援を行い関与してきている。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

同社は、本町の基幹産業の一つ「サツマイモ」を使った一次加工施設として、町内サツマイモ農家の所得向上及び雇用対策として町の経済発展に大きく貢献してきた。昨今では、本町のふるさと納税の返礼品に使用されるなど、町のPRにも重要な役割を担っている。
しかし、加工を行う施設及び設備は、老朽化に伴う経年劣化が相次ぐことに加え、消費者の食品に対する安心安全志向が高まる中、施設・設備の更新及び改修を行う必要がある。
本町から独立した事業主体として、自らの判断と責任に基づいて事業を遂行することが原則であり、厳しい経営状況ではあるものの、今後も経営努力を行い経営の効率化、合理化の余地について検討する必要がある、経営健全化に速やかに取り組むこととする。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

売上2億円、経常利益10,000千円とする5年後の目標達成のため、営業力強化、品質管理向上、人材育成の3本柱を軸に経営改善を目指す。
具体的には、営業担当者の増員と全国展開している菓子専門店からの受注に伴う製造の開始を行うほか、これまで原料としていたサツマイモに限らずパレインなどの新たな商材へも積極的に挑戦する。
また、受注先から信頼されることで次への受注につながることから、従業員の品質管理に対する意識向上に加え、チェック機能の充実と責任の明確化を図る。
さらには、より生産性を上げるため、現在行っている業務を見直し、改善や効率化を図り、新しいことに挑戦できる積極性のあるリーダーシップの発揮できる人材に育て上げる。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	資産総額	179,713	197,439	218,079
	(うち現預金)	1,827	2,755	2,818
	(うち売上債権)	8,542	11,277	23,467
	(うち棚卸資産)	62,215	71,016	81,181
	負債総額	617,991	645,153	669,481
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	()	()	()
	純資産額	△ 438,278	△ 447,714	△ 451,401

※ 法人の形態に従って適宜書き換えること

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	経常収益	171,087	150,545	165,891
	経常費用	168,038	159,980	169,579
	経常損益	3,049	△ 9,435	△ 3,687
	経常外損益			
	当期純損益	△ 22,811	△ 9,435	△ 3,687
	特別損益	△ 25,860		